

## 令和2年度 学校運営協議会（第2回）議事録

- 1 日 時 令和2年12月1日（火） 14:15～16:15
- 2 場 所 本校 会議室
- 3 参加者 協議会委員：保護者、地域住民、学識経験者等5名  
本校教職員：校長、教頭、事務長、首席、教務部主任、進路指導主事  
保健主事、生徒会部主任

### 4 内 容

- (1) 委員長挨拶
- (2) 校長挨拶
- (3) 授業見学
- (4) 第1回議事内容確認
- (5) 議 事

#### ◆ 令和2年度 学校教育自己診断について

- ・ 2学期中間考査期間に実施した。今回は結果の数字のみで、将来構想委員会が行う考察や自由記述については次回示す。
- ・ 学校行事ができていない時期のアンケートであったので、昨年度と質問内容を変えているところがある。例えば、「主体的に関わっている」を「主体的に関わりたいと思っている」などである。
- ・ 昨年度と比べると多くの項目で下がっているが、一昨年度が多くの項目であがっていたので、隔年で上下する傾向がある。
- ・ 生徒の「実習や実験」の項目は新型コロナの影響で実施できなかったため、大きく下がっている。
- ・ 生徒の「体育大会」の項目についても、実施時期が変わったことで、大きく下がっている。
- ・ 保護者の「ホームページ利用」の項目は、休校期間の影響から大きく上がっている。
- ・ 教職員の「カウンセリングマインド」の項目が上がっている。しっかり生徒の話を聞こうという姿勢が表れている。

#### ◇ 協議委員からの意見

- ・ 休校時に生徒は不安だったと思う。学習面での不安等はアンケートの数字に反映されているのか。  
→ 学校教育自己診断のアンケートではないが、学校再開時に不安を抱えていないかという旨のアンケートは実施した。勉強面の不安は書かれておらず、外に出られなくてしんどかったという記述はあった。

◆ 令和2年度 第1回授業アンケートについて

- ・例年は、授業改善のために、1・2学期中間考査で行うのだが、今年度は1・2学期期末考査で実施する。今回は1回目の結果のみである。
- ・第1回の学校運営協議会にて、⑧と⑨の質問が大切だと意見を頂戴した。1回目の結果を見ても、⑧と⑨の数字がやや低くなっているため、生徒の興味関心を引く授業を行っていく。11月には授業公開月間を設けたり、10年目経験者研修の一環で公開授業を行ったりした。次回の学校運営協議会では、教員の改善の結果を示すことができる。

◇協議委員からの意見

- ・ホワイトボード化は授業アンケート実施の後になるので、2回目の結果が楽しみに思う。
- ・休校期間があったため、生徒にとっては圧迫感のある授業スケジュールであるが何か対応したのか。→年間行事を見直し、精査し、授業数を確保した。

◆ 令和3年度 教科書選定

- ・教科書を選定する際の概要、選定経過について報告、各教科での選定理由について確認を行った。
- ・今後、デジタル教材も視野に入れる必要がある。府立学校は来年度中にタブレットが配布される予定である。小中学校との違いは、市町村単位での選定と学校単位での選定となるので、教科書会社のコストがかかるため、ハードルが高くなってしまう。

◆ その他

○ 新型コロナウイルスにおける対応の経緯について

- ・休校期間は4月8日～5月10日。まちこみメールやホームページで随時連絡をした。返答がない家庭には個別に連絡をした。課題を4月10日に郵送。健康チェックをまちこみメールを用いて実施。個別対応で育英会予約奨学金の書類提出。教職員の服務についてはテレワークの実施。家族の世話が必要な者は職免。通勤手段・勤務時間の緩和も行った。
- ・学年別登校期間は5月13日～31日。健康観察や学習状況の把握等を行った。1学年を18クラスに分けて展開。学年の枠を越えて、学校全体で対応した。
- ・分散登校期間は6月1日～12日。クラスを半分に分けて実施。午前と午後に分け、3時間授業を行った。
- ・6月15日から通常登校ができるようになった。授業日確保と感染リスクを軽減のため、年間行事の見直しを実施。校外合宿や文化祭を中止せざるを得なかったが、校外合宿の代替として、オリエンテーションを行った。文化祭の代替として、文化発表会を実施した。
- ・今後も効率的かつ負担の少ない感染対策を実施。

○ 新型コロナウイルス感染防止対策について

- ・手指消毒用アルコールを校舎内各所に設置。消毒用アルコールを用いて各教室を消毒している。当初は在庫不足に悩まされた。
- ・保健室では入室前に検温を行ってからヒアリングを行う。調理実習においてもアクリル板を設置して実施している。
- ・マスク着用の呼びかけ、体調管理・換気の呼びかけを行っている。

- ・始業式等は放送で実施した。
- ・食堂についても座席数を半分以下に減らし、対面にならないように配席している。

○ オンライン授業の構築について

- ・長期休校に備え、授業動画等を作成できる環境を整備している。
- ・まず、生徒の ICT 環境の確認を行った。8割以上の生徒がスマートフォンを持っていた。残りの生徒は家庭の端末があることを確認した。プリンターは半数以上が所有していなかった。
- ・次に、教員に対して動画作成・アップロード方法の研修を行った。実際に試行を実施した。スマートフォンに慣れた生徒でも回答に苦しむ生徒が多かったように感じられた。
- ・実技科目の課題確認が困難であるということが分かった。
- ・今後、校内無線 LAN 環境の整備を行い、教員共用タブレット 25 台を購入する予定である。

○ 教育課程の編成について

- ・令和 4 年度（47 期生）より実施。
- ・1・2 年生は基礎学力を重視し、進路希望に応じた選択科目を設置するというのがコンセプト。
- ・2・3 年で 6 時間ずつの選択科目を設置する。2 年生は基礎・標準・発展的なグループに分け、選択科目を選ぶ。3 年生は進路希望に応じた 5 つのグループに分け、選択科目を選ぶ。
- ・今後は、進路希望に応じた科目の組み合わせを確定し、生徒へのガイダンス内容を検討する。

◇ 全体を通して委員からの意見

- ・授業を見学する度に、授業の取り組みが毎年発展していることに感心する。多くの先生がパワーポイントを使用して工夫しているように思った。生徒も熱心に取り組んでいる。コロナへの対策も大変だったと思うが、順調に進んでいるように見える。新課程については、どういう生徒を育てていきたいかということを考えていくことで定員割れも防げるのではないかと思う。特徴を出せたらなお良いと思う。
- ・授業の進歩を年々感じている。先生方の努力の賜物だと思う。コロナへの対策もしっかりされている。万が一、感染者が出たときに個人を守れるような対策を準備しておいてほしい。オンライン授業では、みんながついていけるように考えていってほしい。就職や進学で困っている生徒はいないか。力になれることがあれば協力していきたい。
- ・ホワイトボードの効果は大きいのではないか。先生方の工夫と生徒の態度の良さに感心した。定員割れが不思議に思う。授業の雰囲気の良さを学校の特徴としてアピールできないか。1 年生からのキャリア教育を通じて、一人一人に寄り添ってあげてほしい。コロナの感染者が出た時の対策を考えておいてほしい。
- ・生徒たちが一生懸命授業を受けていた姿を見て、ホワイトボードの成果が出てくるのではないかと考えた。
- ・生徒が前を向いて授業を受け、窮屈さを感じない様子であった。落ち着いた環境が美原のアピールポイントではないか。今後は、コロナの中での進路保障が課題ではないか。

◆閉会の挨拶（校長）

第 3 回は 2 月上旬を予定。